



ペルセウス座二重星団に接近するハートレー彗星

ハートレー彗星は1986年3月にオーストラリアのハートレー氏によって発見された彗星で、6.5年周期で太陽の周りを回っています。いつもはあまり地球に近づかないのですが、10月20日に地球に約1800万kmまで接近、同28日に太陽に接近し話題となりました。肉眼でも見えると言われていましたが、接近しすぎたため全体に薄くなり肉眼で見るのは困難で、しかも地球と太陽に接近したころは満月前後の月があり、さらに困難なものとなりました。彗星の頭の見かけ上の大きさが満月ほどになりましたが、尾は地球から見て向こう側にのびたため短く見えただけでした。

ペルセウス座の二重星団は、満月ほどの広がりがある星団が2つ並んだもので、カシオペア座とペルセウス座の間に、肉眼でもぼんやりと見えます。この辺りは天の川の中にあるため双眼鏡で見るのが良いでしょう。

また、毎年8月13日ころを中心にペルセウス座流星群が見られますが、この二重星団の近くを放射点として流れます。

綺羅星・星座ガイド

◎一角獣（いっかくじゅう）座

プトレマイオスが制定した星座の一つです。海に一本の長い角を生やした“イッカク”という鯨の仲間がいますが、それとは全然関係なく、額に一本の長い角があるが馬のような動物で、神々の国に棲み、人間界では純真な心を持つ乙女の前だけに現れるのだそうです。

いっかくじゅう座はオリオン座の東隣の天の川の中にあり、冬の大きな三角の中にあります。星座の星は目立たないものが多いですが、星雲や星団は多く有名なものがたくさんあります。オリオン座



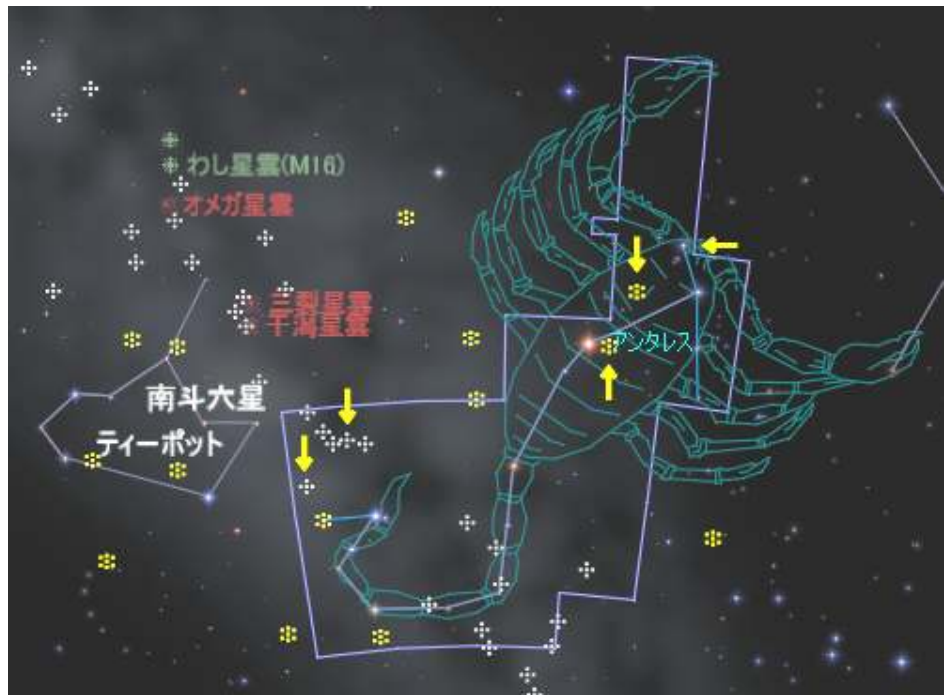
のベテルギウスから東へ 10° ほどのところに“ばら星雲”があります。写真では真っ赤な薔薇の花のように見え、この中にはハチが群がるように星団があります。薔薇は淡くて望遠鏡でも直接見るのは難しいですが、星団は良く見えます。ばら星雲の北に“ハッブルの変光星雲”という星雲があります。望遠鏡で彗星のような形に見えます。この形が時々変わって見えるのですが、これは星雲の中にある変光星S星の明るさが変わることでそのように見えるのです。また、シリウスの少し上にM50 という星団があります。星団は他にもありますが小さかったり星の数が少なかったりですが、このM50 が一番目立ちます。天の川の中は望遠鏡より双眼鏡の方が楽しめます。

◎蠍（さそり）座

夏の星座で誕生日星座としてもおなじみです。誕生日星座としては南に低いため北海道では南の部分が地平線ギリギリで、地平線まで見通せるところでなければ全体が見えませんが、南の地方では高く上がるのでつりばりのような姿がみられます。ギリシャ神話では、傲慢なオリオンを懲らしめるため、大地の女神・ガイアが放ったサソリの姿で、オリオンはたった一匹のサソリに刺され命を落としました。そのためさそり座が上がってくるとオリオン座はそそくさと西の空に沈み、さそりが沈んだ後こっそりと東から上がってくるのです。

さそり座の真ん中辺りにアンタレスという星があります。アンタレスは赤い星ですが、

その実態は直径が太陽の230倍もある巨大な星で、600光年という遠くにありながら1等星として見えています。このような赤くて大きな星を“赤色超巨星”といい、もうすぐ(と言っても数億年後)寿命を終える星なのです。アンタレスの近くに火星が来ると赤さを競っているという意味で“アンチ・アーレス(火星の敵)”と呼ばれることもあります。赤さということではアンタレスの方が上です。



アンタレスを見たらそのまま少し西にずらすとM4という球状星団があります。小さな望遠鏡では丸い星雲のように見えますが、少し大きめの望遠鏡で見るとたくさんの星が集まっている様子を見ることができ、見かけの大きさは満月ほどあります。さそりのしっぽの上にM6とM7という2つの大型の星団があります。M6は皿を2枚重ねたような形でほぼ満月大、M7はX型に並ぶ星で満月2個分の大きさがあります。この辺りは天の川の中にあるので、望遠鏡より双眼鏡の方が楽しめるでしょう。

◎牛飼(うしかい)座

プトレマイオスが制定した星座の一つです。牛飼いというと広い牧場で牛を飼っているというイメージですが、星座になっているのは巨人族の一人アトラスの姿です。アトラスは乱暴者の巨人族の中ではおとなしく、天を担ぐ役目を負っていました。その後怪女メドゥーサを退治に行くというペルセウスが立ち寄りました。天を担ぐのが辛くなってきたアトラスは、ペルセウスに『天を担ぐのに疲れた。メドゥーサの首を手に入れたらこの俺を石に変えてくれ』と頼みました。メドゥーサを退治したペルセウスは約束通りアトラスを石に変え、それ



がアトラス山脈になったということです。

うしかい座にはアルクトゥルスと言う星があります。明るさは-0.04 等で全天に 21 個ある 1 等星の中では 3 番目に明るい星で、距離が 37 光年、直径は太陽の 24 倍あり、明るさは太陽の 100 倍です。そのため小型の望遠鏡でも日中に見ることが可能です。北斗七星の柄のカーブなりにのばすとアルクトゥルスを通して、おとめ座のスピカにたどり着きます。このカーブを“春の大曲線”と言います。また、この2つにしし座のデネボウを加えた三角形を“春の大三角”と言います。小麦色のアルクトゥルスと真珠色のスピカを“夫婦(めおと)星”とも言います。

うしかい座の真ん中辺りにあるブルケリマという星は、肉眼では 3 等星で見えますが、望遠鏡で見ると黄色の 3 等星と青色の 5 等星が並んでいるのが見られます。他にもジータ星やパイ星なども二重星です。

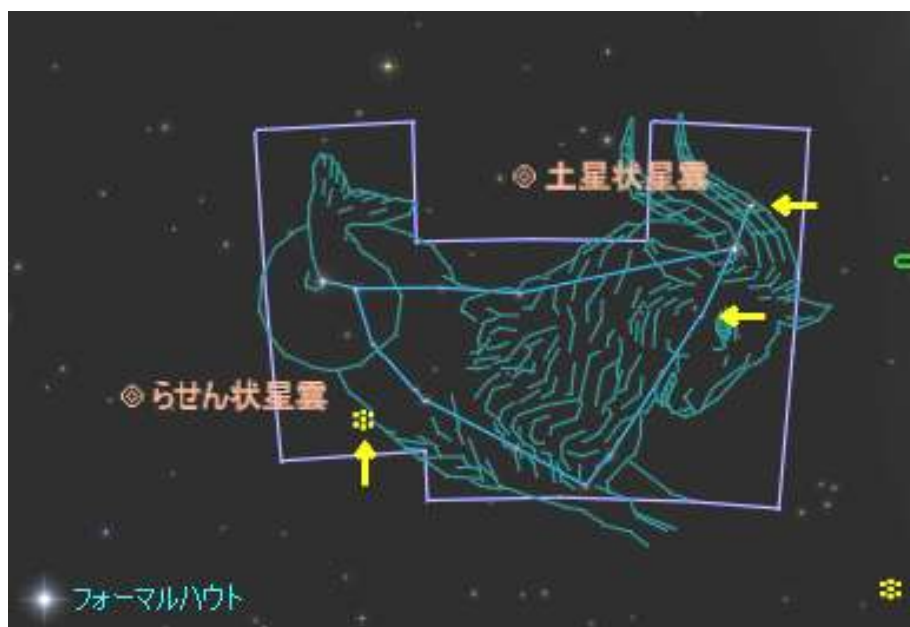
◎山羊(やぎ)座

誕生日星座の一つで位置的には夏の星座に入りますが、分類状は秋の星座として扱われます。プトレマイオスが制定した古くからある星座の一つです。1 月 20 日から 2 月 16 日ころにかけて太陽が通過して行きます。

ギリシャ神話によると『森と羊と羊飼いの神』パーンの姿ですが、星座絵では上半身が山羊、下半身が魚の姿で描かれていますが、怪物ティュフォンから逃れるため川に飛び込んだときに変身に失敗した姿だそうです。やぎ座は逆三角形の形をしています、死んだ人がここを通過して天国に行くのだそうです。

山羊座の西の角のところにアルファ星ギェディが2つの星が並んでいるのですが、肉眼で見える二重星ということです。視力試しに見てみましょう。山羊座の東にM30 という球状星団があります。やや小振りで大きめの望遠鏡で星の密集した姿が見られますが、集中度は高い方です。

やぎ座の尻尾の近くで 1846 年、ドイツの天文学者ガレによって海王星が発見されました。イギリスの数学者アダムスとフランスの数学者ルベリエが、天王星の軌道から外側に別の惑星の存在を予想し、発見となったのです。



綺 羅 星 列 伝

今回は3遍ご覧ください。皆さんの星物語よろしくお願いします。お寄せいただいた物語はしょさんべつ天文台にあります。いつでも閲覧できますのでお立ち寄りの際はご一読ください。

星の名称 : MASE30NOA

3 年ほど前に政夫とトッツ(彼女の昔の愛称)は30 年振りに再開を果たしました。

お互いの近況を伝え合いながら、夢中になって語り合った時間はあっという間に過ぎていました。

それ以来、時々会っては食事やお茶をしながら、仕事や趣味、家庭や友人の話等をしていますが、それが楽しくもあり嬉しくもあり、時に励まされ、少なからず人生に刺激を与えられています。

30 年以上前の学生時代、簡単にすれ違ってしまった2人が今に至って「どうして」を心の片隅で少しだけ悔やみつ、過去は取り戻せないけれど、

残された人生を生きていく上で、お互いに励まし合える関係でい続けたい。

トッツが新聞でこのマイスターズシステムを知り、その願いを託して登録させて頂きました。

星の名称は MASE30NOA

MASE は政夫の MA トッツの名称の頭文字の SE

30 は 30 年

NO は乗り越えて

最後の A は人生の良き Adviser を意味しています。

星の名称 : Crux1945SUMIKO

平成 21 年 8 月 30 日衆議院選挙、民主党の勝利で政権交代、北海道から初めて第 93 代鳩山首相誕生。大リーグで前人未踏の 9 年連続 200 安打を達成したマリナーズのイチロー選手・・・日本の星ですね!

先日 MYSTARS No8442 星名 crux1945SUMIKO 星番号 SA0138696 星座おとめ座を所有登録させて頂いた山本澄子でございます。初山別村は星の村として以前から良く知っていて、天文台に行くときたくさんの美しい星空を見られるのかしらと思っておりましたら、自分の星を所有する事が出来るとテレビで知り、マ

ア～粹なスタッフがいて、何てロマンでステキな事を考えるのだらうと、メモを残しておりました。私は 8 月 30 日、64 才になった主婦です。50 歳になった時、50 才から人生大きく変わっていくのではと思い、10 年日記を書き始め今 2 冊目に入りました。60 歳の還暦を祝い旅行の好きな私は、ペルー、ブラジル、アルゼンチン他 20 日間の旅をした時、マチュピチュからクスコに帰る時、手の届くような大きなキラキラと輝いている南十字を見た時涙が出てきました。私もいつかこの世から隠れる時星にいかうと思ったのを覚えています。今年の 6 月ロシア、スウェーデン(車はスウェーデン

のボルボに乗っています) 方面に旅して、今まで世界 35 ヶ国を観てきました。たくさん、たくさんの感動が私の心の中に残っています。日本では見られない南十字の学名 crux、そして私の生まれた西暦と自分の名前を付けさせて頂きました。8 月 30 日は乙女座。いつかその星に去く時、去く星があり自分の星と思うと何てステキでウキウキします。我が家のお墓は私が書いた「風の旅」という字を彫ってもらっています。毎日展覧会、書道展などに作品を出品していた頃の字なので、お墓に行くたびに手前味噌ですが自分ながいひ字だなと満足しています。YAMAMOTO という横字もドイツ文字で、西暦で誕生した時と逝った時を彫って記載しています。ですから旅の好きな私は“風の旅”をして“自分の星”に去くのです。逝く時に着る洋服のデザイナーの展示会も観てきて、来年はそれを注文しようと思っています。それは、それはステキですばらしい洋服ですヨ…今すぐそれを着てパーティにでも行きたいようなシンデレラが着るようなドレスなのです。こうして1つずつ少しずつ去く時の事を頭のどこかにしっかり入れておいて、その時まで人生楽しくイキイ

キと他人にやさしく、自分に厳しく毎日がんばろうと思っています。

私は 60 才から今まで私の人生で経験した事のないことをバースデーの月にする事にしています。昨年は二セコにラフティングをしてきました。今年は初山別で星を所有しました。来年は初山別に自分の星を観に行くことにします。お友達に自慢すると『あなたは他の人の 3 倍人生を愉んでいるしパワフルな生き方をしているからあなたらしいわね、何てステキでロマンなの…あなたが去ったらあなたの星とお話するね』と言ってくれます。去くのも た・の・し・み デスヨ…

昨日は 40 年続けている茶道のお稽古日、今日は 50 才から初めたゴルフで準優勝とトラコンを頂いてきました。明日はプール、つぎの日はボランティア、夜は札幌ドーム 日本ハムの応援。自分にまけないで健康に気を付けおしゃれを心がけ、感謝の気持ちを持ち、これからも前に進み人生の感動を自分の短歌集にかな作品にして、楽しいこと毎日みつけて生きていこうと思っています。

星の名前 : MY ANGEL ZEN

「マイ・エンジェル・ゼン」

あなたはいるかという星座を知っていますか。6 月中旬から半年の間強い輝きを私たちに届けてくれるといいます。

私は 2009 年 8 月、このいるか座にあなたの名前『全』と名付けました。何の承諾もなく勝手に。仕方ありませんよね。もう 10 年も前にあなたは星になったのですから。いつも夜空を見上げて空ろにきょうきょうとあなたを探していました。今はあの『いるか座』の中にいるのですね。

それは本当に偶然のことでした。道新のコラム

「卓上四季」の記事。その日は中程まで読んで胸がどきどき鳴り始め、目は先へ先へと文字を追っていました。それが「マイスターシステム」の記事でした。

私は読み終わるとすぐ新聞社に電話をかけていました。天文台の電話番号を教えてもらい、受話器を置き深呼吸しました。その天文台の係の方に書類を送ってほしいとお願いをしていたのです。その間 5 分少々でしょうか。曇天の続く 7 月のことです。

送られてきたパンフレットには「あなたを待つて

いる星がある。…綺羅星列伝」とあります。何と凛々しいフレーズでしょう。

こうして翌月の 8 月、登録ナンバー8426『マイ エンジェル ゼン』が誕生したのです。

昨年(2008 年)の夏、健康診断の結果思いがけないことを告げられました。自覚症状もないまま肺の 3 分の 1 を切除しました。

手術から 1 年。今では体の中のほこりを祓ってもらったと思うようになりました。早期の発見でした。

90 歳を過ぎた母は物忘れの道を一生懸命元気に歩いています。老いた母を見て私は空を見上げます。そしてあなたと交信します。あなたに何故いるかなの?と聞かれたら、お母さんは海が大好きで、海を自由に楽しそうに泳ぎまわっているのはもっと好きなの。あのつぶらな瞳、流線型の体型と濡れた肌が美しく、頭の良いところも好きです。仲間と交信が出来て、人間と心を通じ合える凄い能力を持ってるんだよ。天空でそんない

るかと戯れているあなたを見上げていたいから。そう答えます。

数年前、お母さん、童話みたいな物語を書きました。そしてあなたに白い大きな翼を付けました。ルビー色の涙を流す白鳥と一緒に空を旅するのです。

その白鳥が傷ついて飛べなくなった時、あなたは白鳥を背負い最後まで旅を続けます。ひとりきりになってもルビーの涙を握りしめて前を向いて歩いていくのです。こんなかわいそうなお話になってしまいました。でも今は、元気で優しいいるかと一緒にです。

これから歩く私の道を照らす^{あかり}灯は、マイ エンジェル ゼンの輝きです。

必ず天文台へ行きます。あなたというかをもっと近くに感じたいのです。

こちら情報室

○天文情報 (12 月～5 月)

流星・彗星

- 12 月 13 日を中心にふたご座流星群 (12/5～12/20)

活発な流星群の 1 つで、多いときは 1 時間で 50 個以上見られます。今回は新月近い月のため月明かりがなく好条件で見られます。極大は 13 日の 9 時ころと予想されているので、12 日の夜中から 13 日の未明が良いでしょう。

- 12 月 22 日にこぐま座流星群 (12/20～12/23)

今年は満月のため条件は最悪です。

- 1 月 4 日未明にりゅう座流星群

上弦と満月の間にはいるため月明かりがあります。月が沈む 2 時以降がよいでしょう。

- 4 月 23 日未明にこと座流星群

下弦前の月明かりがあり、出現数は少ないようです。

- 特に明るくなる彗星はありませんが、春の明け方には明るい彗星が見られることがあります。

日食・月食・星食

- 12月21日の日没後、全国で皆既月食が見られます。欠け始めは地平線下ですが、まもなく出てきて16時40分に皆既食が始まり、17時17分に食の最大、17時53分に皆既食終了、19時02分には部分月食も終了します。



惑星

- 水星**：1月9日と5月8日は明け方の東空で、3月23日は夕方の西空で最大離隔となり見やすくなります。
- 金星**：明け方の東空で明るく輝いていて、12月4日に最大光度、1月9日に最大離隔で半月形に見え、その後少しずつ遠ざかり丸くなってきます。
- 火星**：2月6日の太陽の向こう側で合になりしばらく休みです。
- 木星**：3月までは夕方の空に見えていますが4月7日に合になり5月から明け方の空に見えます。
- 土星**：4月5日におとめ座で衝になり、8月末まで見られます。
- 天王星**：3月22日に合になりしばらく観望に適しません。
- 海王星**：2月17日に合になりしばらく観望に適しません。

[連絡事項]

住所・氏名が変更になりましたらご一報ください。星物語はいつでも募集しています。郵便、E-mail どちらでも受け付けますので、お気軽にどうぞ。

「My Stars 通信」の送付について、登録番号 8630 までの方は次号よりホームページ上でご覧ください。なお、インターネット利用環境のない方につきましては今後とも郵送することで考えておりますので、希望者にはご一報いただきたくお願いします。

[編集後記]

2010年10月末現在の登録者数は8635名です。

今年の夏は暑かったですね。この暑さは日本だけでなく海外でも同じだったようで、ロシアでは猛暑で野火発生し広大な面積を焼いたとか。世界各地で自然災害が多発しています。猛暑、大雨、洪水、地震、火山噴火など数えればきりがありません。

この夏はいつもの年と天候が違っていました。いつもなら7月から8月上旬は天候不順なのですが、今年は何故か天候が良く、良いはずの9月がぐずついていた。これは見ておこうと思ったものはいずれも天候に恵まれず、断念したものも多かったですね。9月に接近した小惑星「初山別」を撮影しました。明るさが16等という事もあり画像から検出するのも結構大変なくらい薄かったです。

(K)

編集・発行 しょさんべつ天文台 〒078-4431 北海道苫前郡初山別村字豊岬 153-7

天文台ホームページ URL=<http://www.hokkai.or.jp/shosanbe/index1.html>

E-Mail 教育委員会 shkyoiku@saturn.plala.or.jp しょさんべつ天文台 shosanbe@hokkai.or.jp